

令和4年度 第6回 中和地区3市1町障害者自立支援協議会 就労支援部会

議事録

日 時：令和5年3月16日（木） 14時～15時10分

場 所：香芝市総合福祉センター3階・会議室1

出席団体：大和高田市・香芝市・葛城市・広陵町・奈良県高等養護学校・西和養護学校・明日香養護学校・生活支援センターブリッジ・しえ〜く・葛城市社会福祉協議会・ダイアリー・クラウンプラス・えいぶる・圏域マネージャー・えん高田駅前作業所

①会長挨拶

②1年間の振り返り（全体会を踏まえて）

●全体会（グループワーク）

- ・もう少し時間があってもよかったのでは。
- ・いろいろな業種の事業所が参加され、各分野の話を聞いてよかった。
- ・話がとても活性化していた。
- ・事業所同士のつながりができた瞬間を見ることができてうれしい気持ちになった。
- ・それぞれ出てきた課題を、今後どう解決していくのかが課題。
- ・日頃携わらないグループへの移動があってもよかったのでは。
- ・普段は訪問看護の事業者との出会いの場が少ないので、よい機会になった。

●体験会

- ・1つの会場で全体会と体験会を開催できたので、見る→体験→決める、のステップの再確認ができてよかった。
- ・参加者・保護者は具体的に働くイメージが持てたと思うので、今後も続けていければよいと思う。
- ・1つの会場でいろいろな事業所の話を同時に聞けるのは、参加者にとって大きなメリットだと感じる。
- ・一般企業やハローワークのブースがあれば、相談したい人は多いのではないかと感じた。
- ・今後、参加事業所をどう増やしていくのかも課題。
- ・マスコミ取材もあり賑わいがあった。今後はどうPRしていくのかも大切。
- ・児童・生徒の参加を考えると、開催時期・時間を検討する必要があるのでは。

●1年の活動を振り返って

- ・1年の活動を振り返って、就労を目指すかたの生の声が聞いてよかった。
- ・サービスの観点から、入口は充実してきたと思う。今後はそこからのステップアップである移行へつなげることが課題だと考えている。
- ・今後参加する事業所が増えていくものなのかということも、就労支援部会としての課題になってくると思う。

◎まとめ

- ・意見交換の場の機会をつくることを持続していくことが大切である。
- ・支援者からの一方的なマッチングではなく、地域の関係機関とつながりを持って出口支援につなげていくことが課題。
- ・障害のあるかたが前向きに働けるように、チャレンジするきっかけをつくることが大事。

③来年度に向けて

●体験会

- ・次年度以降も計画的に各市町で実施していき、グループホームなど対象事業所の拡大も検討していく。なお開催時期について、養護学校の夏休みが実習と重なることがある。

●事業所リスト

- ・掲載対象を部会員以外にも広げていき、市町の窓口に冊子を置きつつ、HPでも情報発信していくことを検討していく。〈広げて、募って、まとめる〉

●行政実習

- ・障害者雇用について、企業・市民に身近に感じてもらい受入窓口を広げていくために、行政実習の取り組み事態を広報などを活用して情報発信していくことも検討していく。
- ・行政には、他市町のかたの受入を検討してもらう。

●研修会

- ・ハローワークや商工会等と連携をとりながら、地域の中小企業に対してアプローチしていくことを検討していく。
- ・ユニバーサル雇用やトライアル雇用などの雇用形態や助成金の制度について、ハローワークに教示いただくことも1つか。

●見学会

- ・来年度は年2回くらいを予定し、就労支援の出口を意識して進めていく。
- ・支援者が企業に対して障害者雇用について語るよりも、実績のある企業さんから伝えていただくほうが説得力があると思うので、そういった機会を設けることも検討していく。

④その他

来年度の就労支援部会の開催は、今年度と同様に奇数月の第3木曜日を予定。

以上